

2024 キャリアシンポジウム「ふるさと釧路で働くということ」会議録

日 時：令和6年6月5日（水）10:15～11:15

場 所：釧路市中央図書館 7F 多目的ホール及び各中学校の教室等 ※オンライン GoogleMeet を利用して開催

テーマ：「学ぶこと、働くこと、そして生きること」

パネラー：一般社団法人釧路青年会議所 理事長 小向 秀明

釧路市教育委員会 教育長 岡部 義孝

コーディネーター：釧路市教育委員会地域学校協働本部 総括的な地域学校協働活動推進員 森 敏隆

発言者	発言要旨
佐藤指導主事	ただ今より、キャリアシンポジウム「ふるさと釧路で働くということ」を開会いたします。 本日の司会を務めます、釧路市教育委員会の「佐藤」でございます。 よろしくお願いいたします。 さて、本日は、ご案内のとおり、こちら釧路市中央図書館と、市内13中学校をオンラインでつないでおります。 本日は、お二人のパネラーから「学ぶこと、働くこと、そして生きること」をテーマについてお話をいただきます。 パネラーは、一般社団法人釧路青年会議所 小向秀明理事長と釧路市教育委員会岡部 義孝教育長にお願いしております。また、シンポジウムの進行につきましては、釧路市地域学校協働本部 森 敏隆総括的な協働活動推進員に務めていただきます。 およそ1時間のシンポジウムになりますが、途中生徒の皆さんからの質問を受け付けますので、進んで質問してください。一緒に「学ぶこと、働くこと、そして生きること」について、考えていきましょう。 それでは、森推進員、よろしくお願いいたします。
森推進員	「それでは、シンポジウムをはじめます。参加者のみなさん、メモの用意はよろしいでしょうか？」 「まずは、仕事の内容を含め、自己紹介をお願いいたします。」 「岡部教育長 お願いいたします。」
岡部教育長	岡部と申します。教育長って聞いたことないかもしれませんね。教育委員会を会社で例えると、教育長はその会社の社長だと思ってください。教育委員会という会社は一体何をやっているか大きく学校教育と社会教育の2つあります。39ある小中学校、義務教育学校ごとの校長先生ですが、私は39校すべての責任を持つ立場です。生涯学習の方では、今、中央図書館からお話をさせてもらっていますが、まなぼつとや動物園、文化会館、湿原の風アリーナ、その他、文化・スポーツ各施設の中で繰り広げられる様々な事業についても最終的な責任を負う立場です。1000人以上の皆さんとディスカッションするのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。
森推進員	「小向理事長 お願いいたします。」
小向理事長	小向秀明です。青年会議所は、釧路のまちを盛り上げよう、盛り上げたいという20～40歳の人が集まって、良くしたいといろいろな活動をする団体です。観光、経済、教育等の活動です。本業は武佐にある春の湯です。自分はサウナが大好きなので新しくオープンさせました。
森推進員	「仕事の意義を考えてもらうに当たって、まず、苦労話、つらかったことについてお話しください」 「岡部教育長 お願いいたします。」
岡部教育長	教育長は社長と言ったが、大切なことが3つある。一つは判断、二つは判断したことに責任をもつ失敗したことに対して責任をもつ、三つ目は課題がどこにあるのかをいろいろなところにアンテナを高くしながら見出していき、解決に向けた糸口を模索していく努力をしていく。こんなことを毎日やっているから、毎日がつらい連続。ただ、課題を解決できたこともある。自分自身が課題を設定して、乗り越えていくことにやりがいを感じることで続けられるのだと思う。
小向理事長	青年会議所では、釧路には素晴らしいものがあると発信している。そして釧路のことを好きになってほしい。郷土愛をもちながら釧路のために何かしたいと思える人を少しでも増やしていきたいと思っている。しかし、

	自分のお仕事をしながらなので、時間が迫ってきて、眠たいなーということがあります。あと、売り上げが足りない、お金がないことはあるが、春の湯の仕事でつらかったことはあまりない。ワクワクすることが私の仕事のモットー。ただ、コロナとオープンが重なったり、燃料の高騰になったり、確かにたいへんなことはあるけど、ワクワクすることを考えている。
森推進員	ワクワクした中での生きがい等のお話があれば、お願いします。
小向理事長	仕事をしているときは意義は感じられない。2020年に旧春の湯が廃業したが、そこには多くのお客さんがいた。5月から準備をはじめて12月にオープンし、お客さんに「本当にありがとう」と言われるたびに涙がでるくらいうれしかった。地域の人の顔を覚え、コミュニティが生まれた。いっぱい感謝された。銭湯を復活させてよかった。
森推進員	教育長、先ほど無理につらいことを聞いてしまったのですが、前向きに生きておられるかたは、つらいことがないのでしょうが、毎日つらいことの連続の中、どのように生きがいを感じられているのでしょうか？
岡部教育長	働くことの意義はそれぞれみなさんでいろいろなものがあると思う。例えば病院の先生は、ひょっとしたらお金儲けのために働いているかもしれないし、家族を養うためかもしれないし、一人でも多くの命を救いたいかもしれない。プロ野球の選手は何のために野球をやっているのか？いろいろなことを考えているうちに、それぞれの働くことの意義は、一つでないだろうし、いろいろからまったものがあると思う。今、理事長の話をきいて思ったこと。ただ、一つ言えることは、働くということは、どこかにやりがいみたいなものがないと長続きしないと思う。ここで、あるデータを紹介したい。大学卒業者の3割は3年以内に、高卒は4割がやめてしまう。きっと、働く前にいっていたイメージが実際に働いた時にギャップがあったと考えられる。今の離職率の高さにつながっているのだと思うけど、まず、中学生の皆さんに将来社会に出ていくときに、働くというイメージをしっかりもったうえで将来の選択を見極めてもらいたい。 私自身はこう思っている。人生全般、自分以外の誰かのために何かを行うことは尊い。そこにやりがいがある。是非、そういったことを自分なりに考えてもらいたい。
森推進員	～生徒からの質問と回答～ 「ここで、参加者のみなさんから、質問を受けます。ここまでの話について、何か聞きたいことがありますか。質問してくれる人のいるクラスは、学校名・クラス名が書いてある紙をカメラに写してください。」
景雲中	今の仕事に十分満足してますか。
小向理事長	満足していない。何のために仕事をしているかという、もちろんやりがいのためだが、お金にはまだまだ満足していない。銭湯は「ありがとう」と言われるし、銭湯の挨拶は「いらっしゃいませ」でなく「こんにちは」「おやすみ」で終わる。この家庭的な挨拶には満足している。
岡部教育長	努力して課題をクリアできたと思ったときは満足できる。しかし、次の日になったら、さらに高い課題、次の課題が自然に出てくる。仕事もそうだけど、生きているということは、きっといつまでたっても満足できない。皆さんも、努力して、また努力して満足できない人生を続けてください。
大楽毛中	釧路には何もないという人たちに、どのように釧路の魅力をつたえるのか。
小向理事長	青年会議所では、例えば霧フェスティバルを知っている人はどのくらいいる？オー！けっこういますね。ありがとうございます。今年もやります。霧フェスティバルで釧路を盛り上げたいです。何もないけど霧フェスがあるよということを発信する。このように青年会議所では魅力を発信している。
森推進員	「それでは、後半に入ります。これまでのお話、参加者からの質問も踏まえ、参加している釧路市の全中学校1年生に対して、エールをお願いいたします」 「小向理事長お願いいたします」
小向理事長	ぼくが中学生頃、流れに身をまかせ高校に行き、社会人になったのだけど、何かしら目標、中学生には早いかもしれないが、自分なりの姿、何でもいい、プロ野球選手、エンジニア、ユーチューバー……将来こういう姿になりたい、職業でなくてもいいけど、自分がなりたい姿をイメージしてほしい。ぼくは、目標を持たずに高校に行って社会人になったので、社会人になっても何をしたらよいか考えられなかった。社会人になっていろいろな仕事をして今にいたるが、それが自分の経験がプラスになることもあるが、正直言って遠まわりになるのではないかな。自分がなりたい姿、夢、目標、何でもいいので、一つでいいのでつくっていただいて、いま自分はどの位置にあるのか考えながらチャレンジする。うまくいかなくても、自分はだめではなく、これちょっとがったな、じゃあ今度はこれをやってみるとか、いろんなチャレンジを常にやっていただきたい。あきらめずに、何事にも挑戦してもらいたい。

岡部教育長	今、理事長から非常に大切なお話をいただいたと思う。自分の主体的な判断で将来に思考をめぐらせてもらいたい。社会にどう関わっていくのかという、おぼろげにでも見えてきた時に今何をすべきかがおのずと見えてくる。勉強しなければならない、歌を歌わなければならない、走らなければならない。自分の判断で将来どうなっていくのかを考えてもらいたい。一方で生成 AI というのを聞いたことがあると思うが、みなさんが生きていく社会はなかなか予測がしにくい時代になっている。キャシー・デビットソンさんの話、子供たちの65%は大学を卒業した時は今存在しない仕事につくと言われている。例えばユーチューバーが職業として出てきたのはここ10年ちょっと、3人に2人はない仕事につく、それは大人にもわからない。みなさんは、将来に対する情報をタイムリーにとりこみながら、社会との関りを考えてほしい。それからもう一つ、4月下旬に人口戦略会議が分析した消滅可能性自治体が発表された。北海道179市町村うち117市町村が消滅する可能性があるというシュミレーションを発表した。私からのお願いは是非釧路のまちで働くということをイメージしながら、自分はアメリカにいて医療の道に進むと考える人もいるかもしれないけど、選択肢の中にこの釧路で働くということを検討材料の中に入れてもらいたい。
森推進員	「お二人のお話が終わりましたので、この後は、時間の許す限り質問を受けます。質問してくれる人のいるクラスは、学校名・クラス名が書いてある紙をカメラに写してください。」
幣舞中	今の仕事は釧路の未来のためにどのように役立っていますか。
小向理事長	銭湯は常連さんどうしサウナでいろいろな話をする。その中で仕事の話もしたりする。普段スーツを着ていたらなかなか警戒されるが、裸で話をするダイレクトに伝わるから、コミュニケーションが図られる、幸せな気分になっている、ちょっとは釧路のためになっている。人を繋げている。
岡部教育長	教育長になり6年7か月になる。この間ずっと何のために仕事をしているのか、ぶれたことはない、釧路の子どもたちみなさん一人残らず幸せになること。このことが私のモチベーションであり目標である。小向理事長も言っているのと同じだが、誰かが幸せになること、これを目標にすると、働く意味、意義を感じる。一番重要なポイント。釧路のため、皆さんのため、昨日よりも明日、未来によりよい学校生活がおくれるようがんばりたい。
鳥取中	やりたいことがあれば、続けられると言った話があったが、つらいことがあってもどうやったら続けられるか。
小向理事長	あなたは何かスポーツやっていますか？ (中学生) 小学生から野球をやっている。 野球は楽しいですか？ (中学生) 野球は楽しい。がんばればうまくなるし、大会でかったらうれしい。 その通りで仕事ははじめたころ、うまくいかなかったりすること、めんどくさいことがある。ぼくも小学生からバスケットボールをやっていたけどベンチだった。君は野球でうまくいかなかったこと、めげそうになったことある？ (中学生) あります。 ぼくもある。それを乗り越えたとき達成感とか、もっとうまくなりたいとか、優勝したい、レギュラーになりたいと考えることもあるはず。仕事も同じ、何かワクワクする目標に一步でも近づくようなこと、すると必ず失敗は成功のもと。応援してます。
美原中	教育長になるまでには、たいへんなことたくさんあったと思いますが、たいへんだったことは何ですか。
岡部教育長	私は教育長になるまでは、市役所の職員でした。大学を出て市役所に入って57歳まで勤めていて、その後教育長をやっています。もう64歳、みなさんのおじいちゃん、おばあちゃんと同じくらいだと思いますが、市役所に入った時、先輩からこういうふうに言われました。「何のために仕事をしているんだ」私は最初答えられませんでした。家に帰ってその日の晩に色々考えて、次の日その先輩に「ぼくは市民のために仕事をする。そのために市役所に入った」と答えました。40年ぶりに今日ずっと同じようなテーマでお話が続いていますが、誰のためにと考えた時、何かみなさんの将来に対する道とかが見えてくるのかなあと思う。この後の授業で色々検討を深めてもらいたい。
鳥取西中	今の釧路はどんどん企業が撤退していますが、釧路はどのような対応をとり、釧路がどのように発展していくんですか。
小向理事長	日本製紙の撤退など暗いニュースもあるけど、10年続く企業は30%くらいしか残らない。撤退が続くと「釧路って何もないよね」につながっていくかもしれない。私は釧路で生まれて育って、札幌に10何年住んで、

	2018年に釧路に戻ってきた。北海道新聞の記事に「釧路って何もないと言われるけど何もないからチャンスがあるよね」と書いてあった。じゃあ釧路に戻ろうと決めた。これもワクワクの一つ。是非、君も、どうやったら釧路はよくなるかということを、逆に僕たちに教えてほしい。そしたら市長や教育長が取り入れることも、あるかもしれない。是非そういう疑問を持ち続けてほしい。それが釧路のためによくなる。その気持ちが大切。ぼくも釧路のためにがんばろうと思っている。いっしょに頑張りましょう。
岡部教育長	それをね、小向理事長がさっき霧フェスの話をしたけど、霧フェスは今年で40回目、40年前に霧フェスが何でできたかという、釧路のやっかいな霧を何とか逆手にとって、この町の魅力につながればと当時のJCのみなさん発想が作り出し、40回続いている。私は第1回に参加している。みなさんが、この町にあるいろんな物を観光客にどう映るのかな！釧路の魅力として受け止められるか、受け止められないか、それぞれの考え方。この町は夏の涼しさも含めて売りがたくさんあるので、それぞれを形にしていくのはみなさん。是非、そんなことも自分の将来も含めて考えてもらいたい。
小向理事長	釧路はこうあったらいいのになあ。こういうことをしたらもっと盛り上がるかな。熱量をもって大人にぶつけてもらえば、青年会議所も頑張る。みなさん是非一緒に盛り上げていきましょう。
森推進員	「それでは、司会にバトンタッチいたします。佐藤先生、お願いします。」
佐藤指導主事	パネラーを務めていただきました小向理事長、岡部教育長、そして、進行の森推進員、ありがとうございました。 また、ご参加いただきました生徒の皆さん、先生方にも感謝申し上げます。 本日、質問できなかったことは、ぜひ、この後のアンケートに記入してください。可能な範囲でお答えし、皆さんに伝わるようにいたします。 以上をもちまして、キャリアシンポジウム「ふるさと釧路で働くということ」を閉会いたします。 この後は、 本シンポジウムのお話からイメージできた、働く目的や意義、生きがいなどについて、学級ごとで話し合いを持ってください。 先生方、よろしく願いいたします。 本日はお忙しい中、誠に有難うございました。